

「病院」 第48巻 総目次

1989年(第1号～第13号)

数字は通巻頁数, () 内の数字は号数

■ 特集 ■

●選択の時代——病院の進む道——(1)

「公共性」と「営利性」は両立するか
.....土谷 太郎・河北 博文 26

企業の「経営管理」から何を学ぶか
.....荒井 伸也・井手 義雄 32

民間病院が目指す道前田 昭二・竹内 実 39

公的病院の「役割」とは何か
.....島田 恒治・紀伊國 献三 44

●病院と医師——組織のはざまのなかで——(2)

医師-病院関係小論大道 久 109

組織のなかのプロフェッショナル・フリーダム
.....野中 郁次郎・川端 博志 114

病院勤務医に期待すること中村 和之 116

病院と医師の供給システム中野 進 120

〈医学生座談会〉病院勤務医の時代と職業としての医師
葛西 健・河野 達夫・哲翁 たまき・西村 敏樹
.....広井 透雄(司会)河北 博文 125

●効果的な職員教育を進めるために——(3)

組織医療における職員教育伊賀 六一 206

〔対談〕効果的な職員教育を進めるために
.....中川 米造・岩崎 榮 210

どのような職員教育を行っているか
一北里大学病院関根 茂 217

一聖隷浜松病院高嶋 妙子 221

マネジメント教育—日本アイ・ビー・エムのケースを中心に
.....稲山 耕司 226

病院における職員教育の評価の視点
.....海瀬 章・石黒 隆一 230

●施設老人ケア——(4)

施設入所型老人ケア・サービスの体系化をどう考えるか
.....野村 瞭・和田 敏明 293

〔てい談〕老人入院・入所施設の実態と問題点
.....吉岡 充・橋本 正明・岩崎 榮 298

老人保健施設の入退所の考え方とその手続き 大道 久 306

施設老人ケア・サービスの評価と今後の在り方
.....天本 宏 310

老人ケア施設の建築と設備河口 豊 314

事例・老人ケア施設のハードとソフト
.....佐々木 旭・荻久保 武雄・橋爪 孝治
.....宮崎 ひろの・石井 治子 318

●看護マネジメントの新しい波——(5)

看護要員は何によって決められるべきか
.....高嶋 妙子・松井 宣子 389

看護量評価の考え方
渡邊 亮一・関場 泰・前田 マスヨ・坪井 博之 395

特Ⅲ類の導入とこれからの看護管理
.....山崎 絆・岡部 はま子 403

当院看護体制の現状と課題

青木 孝子・梅津 キミ・紙屋 克子・酒見 邦子 408

●今日の物品管理をめぐる——(6)

〈鼎談〉今日の物品管理をめぐる
.....植垣 惣次・梅津 勝男・井手 義雄 484

物品管理のための組織のあり方石井 教男 493

物品管理システム化の経済効果後藤 保郎 496

物品管理の実例阿部 廣介 501

.....山田 一男 504

梅津 キミ・多田 操 507

百貨店の商品管理システムの考え方小田 次郎 510

●病院の福利厚生——(7)

病院の福利厚生はこれでいいのか
.....高木 紹夫・上林 三郎・西中 正久 581

病院労働組合から見た福利厚生の現状
.....朝日 俊弘・岡野 孝信・小池 康義 589

福利厚生面から見た企業と病院との比較
.....加藤 敏幸・佐々木 和男 598

事例・福利厚生事業のいろいろ
.....竹田 芳昭・茂原 徹也・佐々木 和男 604

定年後の生活保障は万全か阿部 正俊・竹内 実 609

税制から見た福利厚生石井 孝宜 615

●〈増刊号〉病院経営近代化のための

ホスピタル・マーケティング655(8)

●病院機能と臨床検査部門の見直し——(9)

病院医療と臨床検査中 甫 835

病院機能と臨床検査技師の勤務体制大場 操児 839

臨床検査の外部委託—技師の立場と病院の立場
.....高橋 正雄・矢作 忠政 843

当院における臨床検査部門の運営
.....和知 勤・前田 宏明 849

トータルオーダーリングシステムによる臨床検査情報処理
.....鍋木 恒男・望月 康弘・大久保 秀夫
.....平田 毅・中島 孝夫 856

画像診断の動向とその有効利用
.....遠藤 雅裕・平松 京一 862

●地域づくりと病院——(10)

地域づくりと病院を考える増田 進 923

地域づくりへのアプローチ
亀田 俊忠・高橋 昭雄・中澤 忠雄・大塚 暢
.....藤村 操・森 俊介・戸栗 栄三 926

地域づくりへの期待—国民は医療に何を望んでいるか
.....菅原 真理子 946

〔対談〕これからの地域づくりと病院
.....斎藤 芳雄・竹内 実 949

アメリカにおける地域病院と地域—その相互依存性
.....M.E. Light・J.A. Dei Rossi 956

●病院と医師の教育研修 (11)

〔対談〕すべての病院に教育機能を
……………諸橋 芳夫・岩崎 榮 1016

臨床研修指定病院の指定基準を問う
……………高橋 隆一・宮崎 康・鈴木 康・鈴木 篤
……………高見 茂人 1021

〔座談会〕学会関連研修認定病院の認定基準と研修方式
植村 研一・畑尾 正彦・橋本 信也・岩崎 榮 1027
一般病院からのコメント ……………塚本 玲三 1035
学会認定医制度と臨床研修医制度 ……………真栄城 優夫 1037
中小病院における医師の教育
岩淵 勉・須加野 誠治・松村 理司・川村 明夫 1041
臨床医師研修と学位制度

……………伊賀 六一・石飛 幸三・大田 浩右
……………滝沢 貴昭・佐藤 昇樹・高橋 一則 1048

●“淘汰”の時代を勝ち抜く民間病院 (12)

〔対談〕今、民間病院の“冬の時代”か
……………西能 正一郎・大道 久 1109

民間病院の経営環境はこれからどう変わるのか
……………町田 洋次 1116

環境変化に対する民間病院のこれからの対応と挑戦
……………橋本 寿 1120

地域医療計画—民間病院の対応
……………竹内 実・石田 貞治・手束 昭胤 1126

北海道の病院倒産事例から何を学ぶか……………佐藤 鉄男 1136
〔特集に寄せて〕都市型民間病院聞きある記 ……編集室 1142

●病院財務管理のあり方 (13)

病院経営改善に役立つ分析方法
松本 力・下間 幸雄・井手 義雄・米田 啓二 1200

病院財務管理における人件費対策 ……………一条 勝夫 1213
病院の経営内容のオープン化 ……………河北 博文 1217

〔鼎談〕病院事業をめぐる
……………亀田 隆明・三枝 匡・井手 義雄 1220

■グラフ (14)

熊本機能病院 …………… 9 (1)

富山県厚生連高岡病院 …………… 101 (2)

札幌北楡病院 …………… 189 (3)

横浜市総合リハビリテーションセンター …………… 285 (4)

香川県立中央病院 …………… 377 (5)

千鳥橋病院 …………… 471 (6)

新潟市民病院 …………… 567 (7)

千葉市立海浜病院 …………… 827 (9)

信濃町立信越病院 …………… 915 (10)

市立舞鶴市民病院 …………… 1003 (11)

青森市民病院 …………… 1095 (12)

麻生セメント株式会社飯塚病院 …………… 1187 (13)

■人 (15)

後藤 保郎・兵庫県立尼崎病院長 ……………諸橋 芳夫 16 (1)

黒岩 卓夫・ゆきぐに大和総合病院院長 ……今井 澄 108 (2)

上林 三郎・聖路加国際病院事務長 ……………牧野 永城 196 (3)

浅野 一雄・全国国立病院院長協議会会長 都竹 昭二 292 (4)

富永 健二・日本赤十字社病院長連盟会長・名古屋

第二赤十字病院長 ……………高木 弘 384 (5)

本多徳児・日本医療法人協会第九代会長 深瀬 邦雄 478 (6)

日本病院会第三次新体制 ……………竹本 吉夫 574 (7)

三原 茂・第28回全国自治体病院学会長
……………岩永 芳次郎 834 (9)

一条 勝夫・病院管理研究協会常任理事 高橋 政祺 922 (10)
北川定謙・厚生省病院管理研究所所長……………大谷 藤郎 1010 (11)

横山 巖・日本リハビリテーション病院協会会長
……………窪田 俊夫 1102 (12)

太田 緑子・財団法人太田総合病院・社会福祉法人
太田福祉記念会理事長 ……………菊池 寿子 1194 (13)

■今日の視点 (16)

〈座談会〉精神保健法とこれからの精神医療
……………道下 忠蔵・安田 恒人・新美 育文
……………司会・仙波 恒雄 17 (1)

〈座談会〉プライマリーケアを担う総合診療科を開設
する ……………福井 次矢・福原 俊一・鈴木 民子
……………福井谷 祐一 197 (3)

快適空間としての病院づくり……………小野 清美 385 (5)
医療ソーシャルワーカーの業務と資格制度化問題

……………高橋 紀夫 479 (6)
NHSの改革とその課題 ……………池上 直己 575 (7)

“患者サービス”の視点から見た病院建築(1)
伊原 和人・河口 豊・岸 誠一・木島 暁・小松 正樹
鈴木 隆司・辻 吉隆・馬場 裕輔・広井 良典 1011 (11)

“患者サービス”の視点から見た病院建築(2)
伊原 和人・河口 豊・岸 誠一・木島 暁・小松 正樹
鈴木 隆司・辻 吉隆・馬場 裕輔・広井 良典 1103 (12)

“患者サービス”の視点から見た病院建築(3)
伊原 和人・河口 豊・岸 誠一・木島 暁・小松 正樹
鈴木 隆司・辻 吉隆・馬場 裕輔・広井 良典 1195 (13)

……………高田 勝実・高田 宏美・高橋 留子 254 (3)

……………高田 勝実・高田 宏美・高橋 留子 254 (3)

■特別企画・特別記事・特別寄稿 (17)

〈病院インタビュー〉
民間病院の活路を求めて—高知記念病院の場合
……………高田 勝実・高田 宏美・高橋 留子 254 (3)

〈研究会レポート〉
関西3病院QC研究会 …………… 336 (4)

〈特別記事〉
医療ガス配管事故対策 その後の歩み ……………佐藤 暢 1144 (12)

■建築と設備 (18)

トヨタ記念病院 ……………石田 好 67 (1)

阿品土谷病院 ……………奥村 昭雄 159 (2)

東京大学医学部附属病院新中央診療棟

……………東京大学鈴木成文研究室・他 245 (3)

社会保険中央総合病院 ……………石嶋 秀雄 349 (4)

沼津市立病院 ……………佐藤総合計画 434 (5)

コージェネレーションシステム

……………牧村 功・前川 賢司・大森 文夫 527 (6)

藤田学園保健衛生大学七栗サナトリウム 江口 定信 631 (7)

盛岡赤十字病院 ……………細川 一 883 (9)

松波総合病院 ……………田辺 尚美 971 (10)

保健・健康施設3題 ……………長澤 泰・浦 良一

……………浮ヶ谷啓悟・木村 誠・上原 憲二 1059 (11)

公立松任石川中央病院 ……………古我 大作 1161 (12)

小牧市立病院 ……………名古屋大学柳澤研究室

……………石本・建築計画連合・設計共同体 1245 (13)

■ 病院アレコレ見聞録

リハビリテーションを中心に高齢化社会に対応する 医療法人館山病院	穂坂 博明・林 弘	151 (2)
大都市近郊で地域医療を追求—医療法人三思会東名 厚木病院		330 (4)
地域の医療ニーズに応える—医療法人仁生会細木病 院		522 (6)
健康福祉活動の拠点づくり—涌谷町民医療福祉セン ター		1240 (13)

■ 院長の“ひと”

スタッフの意識革命による高品質癌専門病院への道 財団法人慈山会医学研究所坪井病院・坪井栄孝先 生に聞く	インタビュー・紀伊國 献三	74 (1)
---	---------------	--------

■ 精神病院・地域ケアのための組織づくり

精神障害者社会復帰への道	関 守	136 (2)
「札幌デイケアセンター」のできるまで	伊東 嘉弘	544 (6)
アルコール医療とセルフケア		
…小池 健・大井 孝・小野 仁彦・秋葉 康二		870 (9)

■ 新しい医療情報システムを作ろう!

マイクロ・メインフレーム・リンクについて 滋賀医科大学医学情報センター		170 (2)
--	--	---------

■ 検証・日本医療の論点 【二木 立】

わが国病院の在院日数はなぜ長いのか		60 (1)
検証・日本医療の論点についての補注		113 (2)
脳卒中患者のリハビリテーション—現状と問題点 (その1)		146 (2)
脳卒中患者のリハビリテーション—現状と問題点 (その2)		238 (3)
医療費地域差についての点描 (その1)		356 (4)
医療費地域差についての点描 (その2)		446 (5)
医師所得は高すぎるか? ①		536 (6)
医師所得は高すぎるか? ②		624 (7)
医師所得は高すぎるか? ③		889 (9)
わが国の私的病院チェーンはどこまで進んでいるか? ①		964 (10)
わが国の私的病院チェーンはどこまで進んでいるか? ②		1066 (11)
私的病院の拡大パターンの変貌—名古屋市を例として		1153 (12)

■ 実践・病院のマネージメント 【井手 道雄】

病院のイノベーション		131 (2)
病院のライフサイクルの変化		251 (3)
病院の戦略計画と戦術計画		441 (5)
トップダウンとボトムアップ		877 (9)
Product Market Strategy の応用		982 (10)
病院のサービスについて(1)		1251 (13)

■ 医療従事者のための患者学

“病気の理解” から見た医療従事者と患者との関係 (その1)	木村 登紀子	165 (2)
“病気の理解” から見た医療従事者と患者との関係 (その2)	木村 登紀子	259 (3)
“患者学” から見たコミュニケーション① コミュニ ケーションの機能	仁木 久恵	342 (4)
“患者学” から見たコミュニケーション② “コミュ		

ニケーション”の様相	仁木 久恵	426 (5)
“患者心理”を理解する (その1)	木村 登紀子	517 (6)
“患者心理”を理解する (その2)	木村 登紀子	638 (7)
“患者心理”を理解する (その3)	木村 登紀子	977 (10)
喪失—生きることへの問いかけ	木村 登紀子	1072 (11)
喪失—共にあゆむ	木村 登紀子	1234 (13)

■ 医療を囲む声 病院の視力・聴力・感性

出会いから生まれた健康・医療ガイドセンター

.....	松原 雄一	57 (1)
小さな入院体験から	辻野 純徳	143 (2)
いまどきの「患者-医師関係」.....	松原 雄一	235 (3)
身体障害者の自立とスポーツに生涯を捧げた医師 「中村裕先生」と身体障害者福祉	渡辺 博康	329 (4)
セカンド・オピニオン	松原 雄一	425 (5)
わたしについての情報は誰のもの?	松原 雄一	623 (7)
小児病棟におけるボランティア活動 15 年の歩み		

.....	奈須 輝美	869 (9)
良い医師・良い医療機関とは	松原 雄一	963 (10)
病気とつき合う	奈須 輝美	1057 (11)
医事紛争と医療訴訟	松原 雄一	1151 (12)
医の原点にかえて	三島 博信	1233 (13)

■ 辛口リレーエッセー 私の医療論・病院論

サイエンスとアート	土山 秀夫	56 (1)
医療の質: その評価	岩崎 榮	142 (2)
医学教育	高久 史磨	236 (3)
立場変われば	品川 信良	326 (4)
院長の身辺	丹野 三男	422 (5)
病院の自浄作用	安藤 静男	514 (6)
ホスピタリティ	山口 巖	620 (7)
分化と統合	鹿内 健吉	866 (9)
医療の世界にもグローバルな視点を	松波 英一	960 (10)
ハードとソフトの患者サービス	伊藤 雅治	1054 (11)
大学病院の落日	武下 浩	1148 (12)
大学と病院	廣戸 幾一郎	1230 (13)

■ 味わいエッセー出会い

中村草田男の句	寺田 一郎	58 (1)
活きた英語	斎藤 隆雄	144 (2)
映画から学んだこと	片山 文彦	328 (4)
POS と日野原先生と	林 茂	424 (5)
死との出会い	池田 貞雄	516 (6)
出会いの腸	本多 憲児	622 (7)
56歳からのファール	小林 司	868 (9)
大いなる出会い	千葉 潜	962 (10)
病との出会い	衣笠 恵士	1056 (11)
石鯛	黒島 義男	1150 (12)
出会い—その宿命的なもの	太田 怜	1232 (13)

■ 病院管理の現場から

<事務長のひとり言>

精神病院の在り方	鈴木 雅晴	59 (1)
看護婦さん、いませんか	益田 啓作	237 (3)
病院経営	鈴木 雅晴	423 (5)
憎らしい人、歓迎	益田 啓作	621 (7)
病院改革への道	鈴木 雅晴	961 (10)
会社人間から社会人間へ	益田 啓作	1149 (12)

〈看護最前線〉

ある日の業務計画	鈴木 久子	145 (2)
看護チームの活性化	小田島 多美子	327 (4)
救急外来の看護記録	鈴木 久子	515 (6)
Y氏の転院	小田島 多美子	867 (9)
病棟会への思い	鈴木 久子	1055 (11)
院内教育を担当しての学び	小田島 多美子	1231 (13)

統計のページ

病院運営管理の実態(3)	福島 絢	82 (1)
病院の部門別原価計算(1)	福島 絢	156 (2)
病院の部門別原価計算(2)	福島 絢	264 (3)
病院の部門別原価計算(3)	福島 絢	362 (4)
他職種の病棟進出度とその業務内容	奥村 元子	452 (5)
基準看護承認状況	奥村 元子	550 (6)
週休2日制の実施状況と看護婦の有給休暇日数	菊池 令子	895 (9)

イギリスの医療費統計①	新村 和哉	1080 (11)
イギリスの医療費統計②	新村 和哉	1168 (12)
西ドイツの医療費の統計分析①	田中 耕太郎	1258 (13)

厚生行政を読む 【厚生行政研究会】

病院のコンピュータータルシステム		86 (1)
新医療技術の保険導入ルール		174 (2)
検体検査のテクノロジーアセスメント (上)		268 (3)
検体検査のテクノロジーアセスメント (下)		360 (4)
病院の企業努力と卒後臨床研修		450 (5)
人・物・金・情報		548 (6)
国民医療費統計と病院経営		642 (7)
一杯のかけそば		898 (9)
民主主義		986 (10)
血液の流通		1082 (11)
C型肝炎		1170 (12)
〈コーヒープレイク座談会 '89〉		1256 (13)

病院管理トピックス

〔医療情報・診療録管理〕	星野 桂子	
医療情報の整理と保管		88 (1)
医療情報・診療録管理における OA 機器		272 (3)
医療サービスと診療情報のコード化		364 (4)
診療情報の精度管理		645 (7)
医療情報管理と統計		1079 (11)
医療情報管理者と組織		1176 (12)
〔医事〕	中川 純子・都 直人・杉山 勝志・古畑 佳枝	
外来診療テレフォンサービス		89 (1)
パンフレットを通じた情報サービス		176 (2)
医療秘書科生の病院実習の現状		273 (3)
〔看護〕	永山 くに子	
婦長の立場—役割と責任		90 (1)
新卒看護婦の現任教育—プリセプターシップの導入		900 (9)
〔庶務・人事・労務〕	石山 稔	
病院 QC 活動		177 (2)
病院職員の教育研修		365 (4)
裁量労働・フレックスタイム・変形労働時間		901 (9)
病院経営管理組織図の設計		1078 (11)
〔薬剤〕	中原 保裕	
副作用モニタリング報告に薬剤師の活用を!		178 (2)

最近マスコミを服わした薬の副作用		556 (6)
病院薬剤師による患者サービスの在り方		902 (9)
薬科系大学卒業生はいずこに		1077 (11)
〔図書〕		

今田 (伊藤) 敬子・江口 敏一・奥出 麻里・奈良岡 功
後藤 久夫

病院図書室の Set Up		271 (3)
資料(1) 図書類について		456 (5)
資料(2) 雑誌—その収集と組織化		646 (7)
二次資料		989 (10)
看護文献の探し方(1)		1175 (12)
〔施設管理〕	小峰 建二・井原 理安	
院内サイン計画とその実際—病院側から		458 (5)
効果的なサイン計画のために—業社側から		459 (5)
〔手術室〕	岩本 昌子	
手術看護記録と継続看護		554 (6)
術前訪問		990 (10)
医療廃棄物と感染防止		1261 (13)
〔放射線〕	角田 清志	
画像診断進歩の渦に巻き込まれて		648 (7)
時間外救急に対する放射線科のあり方		903 (9)
消化管X線透視検査の今後		1172 (12)
〔用度〕	梅津 勝男	
今後の病院経営と用度の役割		991 (10)
医薬品の購買管理と用度の役割		1173 (12)
医療材料と用度の役割		1260 (13)

医療・病院管理用語三二辞典

医療記録・病歴管理	小野 丞二	173 (2)
滲出性中耳炎	大塚 護	173 (2)
医局	小野 丞二	267 (3)
扁桃と病巣感染	大塚 護	267 (3)
ラインとスタッフ	一条 勝夫	455 (5)
基準嗅覚検査	大塚 護	455 (5)
老人病院	小野 丞二	553 (6)
裂孔原性網膜剥離	金 恵媛	553 (6)
指定統計, 届出統計, 承認統計	一条 勝夫	644 (7)
PTC と PTC D (PTBD)	西崎 統	644 (7)
医療社会事業士 (MSW)	小野 丞二	904 (9)
網膜光凝固	原 里佳	904 (9)
目標管理	一条 勝夫	992 (10)
胆石溶解療法	西崎 統	992 (10)
院内感染	小野 丞二	1084 (11)
緑内障	金 恵媛	1084 (11)
委員会	一条 勝夫	1167 (12)
白内障	原 里佳	1167 (12)
薬価基準	小野 丞二	1262 (13)
眼科一般外来	原 里佳	1262 (13)

時評

査定減と定額払い制の間	宮森 正	91 (1)
ターミナルケア雑感	斎藤 芳雄	179 (2)
年末年始老人風景	宮森 正	274 (3)
寝たきり老人が多いのは何故か?	斎藤 芳雄	367 (4)
検査結果はだれのもの	宮森 正	461 (5)
在宅支援活動のあり方を考える	斎藤 芳雄	557 (6)

大学病院問題と総合診療科	宮森 正	649 (7)
謝礼	斎藤 芳雄	905 (9)
サービス以前	宮森 正	993 (10)
今更ながら、「健康」とは何か?	斎藤 芳雄	1085 (11)
「地方」の医療はどうなるのか?	斎藤 芳雄	1177 (12)
地域保健の将来	宮森 正	1264 (13)

■ 書評

臨床医の決断と心理	丸井 英二	366 (4)
心臓移植の現在	多田羅 浩三	394 (5)
臨床検査室のクオリティ・マネジメント		

	櫻林 郁之介	881 (9)
--	--------	---------

老人ケアの社会学	大井 玄	1125 (12)
----------	------	-----------

「地域医療の拠点を創る—医師会型

老人保健施設の展望」	北川 定謙	1244 (13)
------------	-------	-----------

「人間と空間—21世紀への序奏」	辻野 純徳	1255 (13)
------------------	-------	-----------

■ 病院だより・風信・追悼文

シンポジウム「闘病体験を語る」	長島 喜一	85 (1)
-----------------	-------	--------

■ 海外医療情報

特定の診断群における患者の社会経済的特性と在院

日数・入院医療費との関連	54 (1)
イギリスの要介護老人の介護者が受けている公的 非公的援助	119 (2)
費用効果的長期地域ケアが困難な7つの理由	158 (2)
医療機関を受診しない老人：特徴と医療上の結果	225 (3)
医療費抑制と医師	258 (3)
アメリカの医療制度入門	304 (4)
アメリカの医療革命	309 (4)
米国におけるMRI(磁気共鳴診断装置)の経済と利用	445 (5)
規制緩和の衰退と崩壊	500 (6)
在宅医療サービス供給の規模と範囲の経済性	521 (6)
不正診療・過剰診療で処罰された医師の特徴	603 (7)
メディケアの腎不全治療給付費の推移	608 (7)
レイオフがアメリカの病院で急増	847 (9)
英国の医師のNHS外での就業状態	894 (9)
老人の長期ケアの統合モデル：サービス利用と費用 の比較対照試験	1071 (11)
退院後の働きかけと再入院	1141 (12)

■ 末期患者ケアの基本知識と実際を提供するスタンダードなテキスト

ターミナルケア医学

新刊

監修 日野原重明 聖路加看護大学学長
編集 岡安大仁 日本大学教授・第1内科
柏木哲夫 淀川キリスト教病院副院長

近年の卒前・卒後医学教育で重視されつつある末期患者ケアの基本知識と実際を提供するスタンダードなテキスト。

『ターミナルケアは、ややもすると人間性偏重の特殊な医療活動のような印象をもたれがちだが、これは全くの誤認であり、基本的医療の一部であって、しかも医学が古くからかけてきたサイエンスとアートとの調和を目標にして、患者のもっとも重要な人生の総決算の時期に、患者を支えるものである』と考える編者のもとに、これまでターミナルケアの実践にあたってこられた主として「死の臨床研究会」のメンバーの方々が、その理念から症状のコントロール至る各分野をあますところなく整理した。

●A5 頁226 図10 1989 * 定価2,060円(税込)〒300

● 主要内容

第I部 ターミナルケアの基本的な考え方

ターミナルケアとは ターミナルケアの4つの要素 ターミナルケアにおける看護の役割 予後の判定とその意義 病名を告げることと患者の権利 QOL(Quality of Life; 生活の質) キュアからケアへ 死についての教育 宗教の必要と留意点 ホスピスとPCU 精神的アプローチの要点 在宅ケア 家族の悲嘆への対応 ターミナルケアにおける放射線治療の適応 臨死時と死後への対応 医療者の態度と倫理

第II部 苦痛軽減のための症状コントロール



医学書院

113-91 東京・文京・本郷5-24-3 ☎03-817-5657(販売部直通) 振替東京7-96693